

MPE720 Ver.7.35 バージョンアップ情報

1. 機能追加・改善項目

1.1 Ver.7.35 バージョンアップ情報

MPE720 Ver.7.34 → Ver.7.35 の機能追加・改善項目は次の通りです。

No.	機能項目	分類
1	SVC モジュールに割り付け可能なモジュールに IO3100 モジュール(DC24V16 点入出力)を追加しました。	新規追加
2	MP3000 シリーズコントローラに、割り付け可能なモジュールに、MNET-01 モジュールを追加しました。	新規追加
3	定数変数のインポート機能を改善しました。	機能強化
4	SVB、SVC の詳細定義を変更し、書き込みを行った場合にメッセージを追加表示するようにしました。	機能強化
5	フラッシュ保存時の動作を改善しました。	機能強化
6	特定の PC において、特定のプロジェクトファイルを開くと、MPE720Ver.7 が起動できない現象を改善しました。	改善
7	ラダープログラムにおいて、変数を誤って認識してしまう現象を改善しました。	改善
8	モーションプログラムのコンパイラの動作を改善しました。	改善
9	通信設定のリトライ回数の最大値を変更しました。	改善
10	クロスリファレンス機能の動作を改善しました。	改善
11	システムレジスタについて、MP3000 シリーズで追加となったレジスタの変数、コメントを追加しました。	改善

(※): Windows 7、Windows VistaのOS環境で、既にMPE720 Ver.7.11以前のMPE720 Ver.7を使用していた場合にMPE720 Ver.7.13以降で追加された軸セットアップウィザード機能へのサーボ機種(ΣV-miniシリーズ)追加などの情報(データベースに追加された最新の情報)で動作しない場合があります。
操作手順については、次頁を参照ください。

【Windows 7、Windows Vista環境での使用方法について】

Windows 7、Windows VistaのOS環境で、MPE720 Ver7を使用した場合、以下の現象が発生することがあります。

<原因>

Windows 7、Windows VistaのOS環境で、既にMPE720 Ver.7.11以前のMPE720 Ver.7を使用していた場合に、MPE720 Ver.7.13以降で追加された軸セットアップウィザード機能へのサーボ機種(ΔV-miniシリーズ)追加などの情報(データベースに追加された最新の情報)で動作しない場合があります。

<対策>

以下の手順に従い、バッチファイルを実行することで以下フォルダを削除してください。(※1)

C:\Users\ユーザー名(※2)\AppData\Local\VirtualStore\Program Files(※3)\YASKAWA\MPE720 Ver7

手順

1. MPE720 Ver.7インストーラに同梱されているバッチファイルをデスクトップにコピーします。

【ダウンロード版の場合】

MPE720Ver7_xxx(※4)\Tools\CleanUp\MPE720Ver7_x86.bat (32ビット版OS用)

MPE720Ver7_xxx(※4)\Tools\CleanUp\MPE720Ver7_x64.bat (64ビット版OS用)

【DVD版の場合】

D(※5)\Tools\CleanUp\MPE720Ver7_x86.bat (32ビット版OS用)

D(※5)\Tools\CleanUp\MPE720Ver7_x64.bat (64ビット版OS用)

2. コピーしたバッチファイルを選択し、ダブルクリックで実行します。

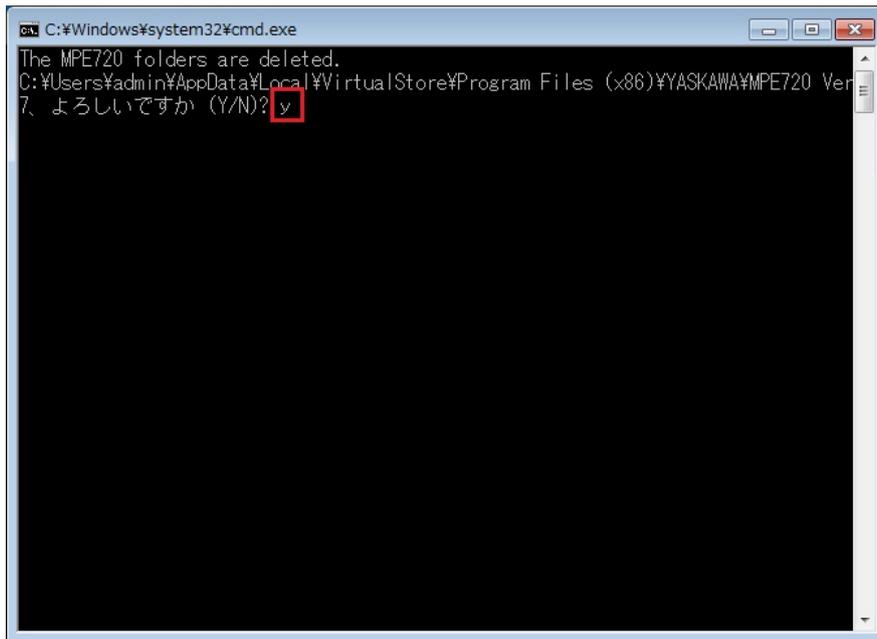
ご使用のOS環境により、実行するバッチファイルを選択してください。

MPE720Ver7_x86.bat (32ビット版OS用)

MPE720Ver7_x64.bat (64ビット版OS用)

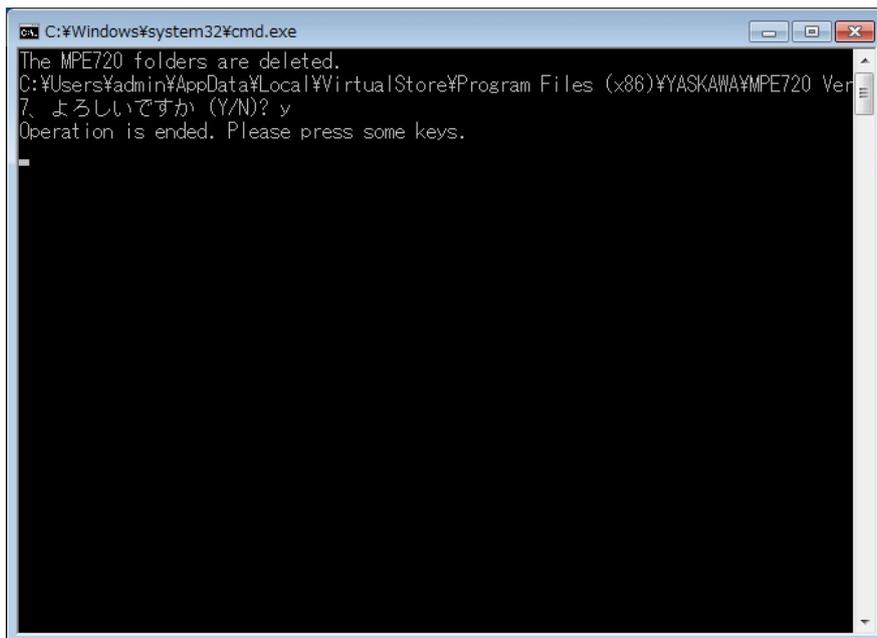


3. コマンドプロンプト上で「y」を入力し、Enterボタンを押下します。



```
C:\Windows\system32\cmd.exe
The MPE720 folders are deleted.
C:\Users\admin\AppData\Local\VirtualStore\Program Files (x86)\YASKAWA\MPE720 Ver
7, よろしいですか (Y/N)? y
```

4. 削除処理終了後、コマンドプロンプト上で、Enterボタンを押下します。



```
C:\Windows\system32\cmd.exe
The MPE720 folders are deleted.
C:\Users\admin\AppData\Local\VirtualStore\Program Files (x86)\YASKAWA\MPE720 Ver
7, よろしいですか (Y/N)? y
Operation is ended. Please press some keys.
_
```

(※1): 1台のPCをマルチユーザで使用している場合は、各ユーザ毎に本作業を実施してください。

(※2): ログインしているユーザアカウント名が入ります。

(※3): OS環境により下記のパス名になります。

32ビット版OS: Program Files

64ビット版OS: Program Files (x86)

(※4): インストールするバージョンによりパス名が変更されます。

(※5): DVDドライブ名が入ります。

(※6): MPE720 Ver.7インストール時、インストール先を変更した場合は、インストールしたパスに合わせて手動で以下フォルダ配下にある「MPE720 Ver7」フォルダを削除してください。

C:\Users¥ユーザ名(※2)\AppData\Local\VirtualStore

【並列回路のコンパイルについて】

MPE720 Ver7.23以前のMPE720 Ver7のラダープログラムにおいて、並列回路を使用した場合、以下の現象が発生することがあります。

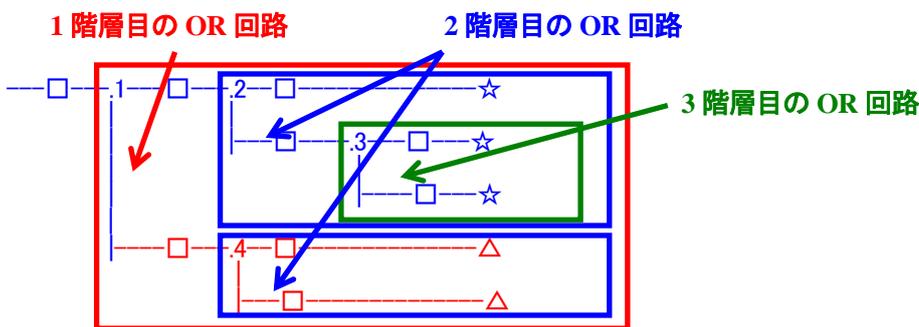
<現象>

下記のパターンを含む回路を作成した場合に、1階層目のOR回路の下側の回路が、本来、1階層目のOR回路の前にある条件命令を受けて、動作しなければならないところをその条件を受けずに動作してしまう現象がありました。

<対策>

現象が発生した場合は、MPE720 Ver7.24以降のMPE720 Ver7で、該当のラダープログラムについて、再コンパイルを実施してください。

または、「コンパイル」メニューの「プログラムの全コンパイル」を再度、実施してください。



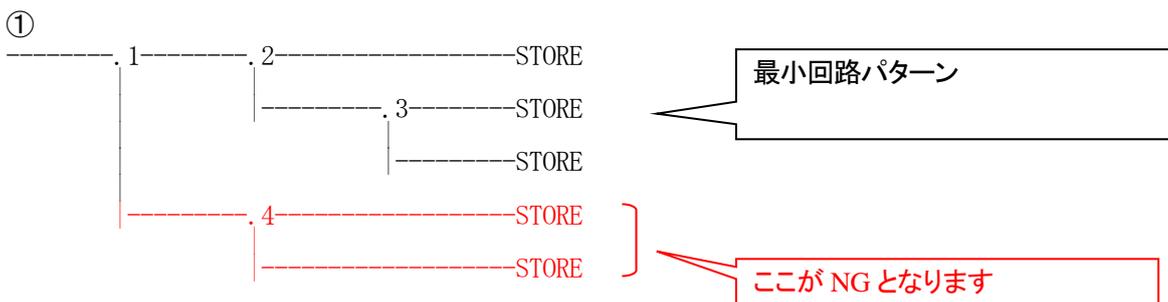
1 階層目の OR 回路: ラングの母線から分岐された OR 回路
 2 階層目の OR 回路: 1 階層目の OR 回路内から分岐された OR 回路
 3 階層目の OR 回路: 2 階層目の OR 回路内から分岐された OR 回路

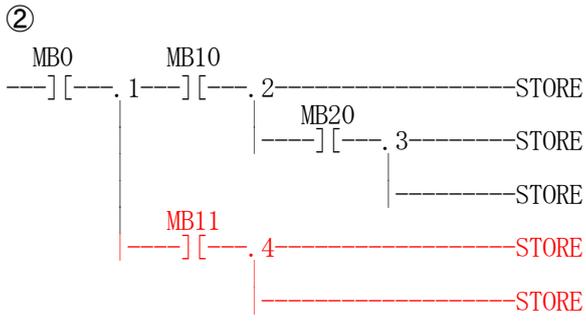
□(条件命令): A 接点、B 接点、比較(=、!、>、<) 命令など
 ※□(条件命令)には、パワー線(——)も含む
 ☆(出力命令): コイル、ブロック命令(Expression、STORE、COPYW) 命令など
 ※ただし、☆が全てコイル命令の場合は、今回の現象は発生しません。
 △(出力命令): コイル、ブロック命令(Expression、STORE、COPYW) 命令など

【現象発生パターン】

記号	命令
┌	A 接点
STORE	STORE 命令
()	コイル

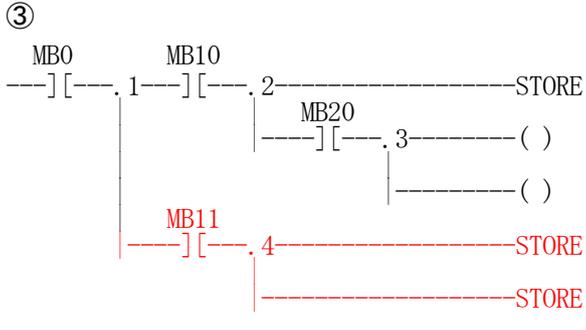
【NG パターン】





最小回路パターンに条件命令(A接点など)があっても NG

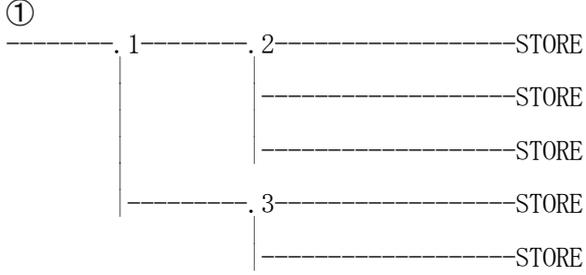
ここが NG となります



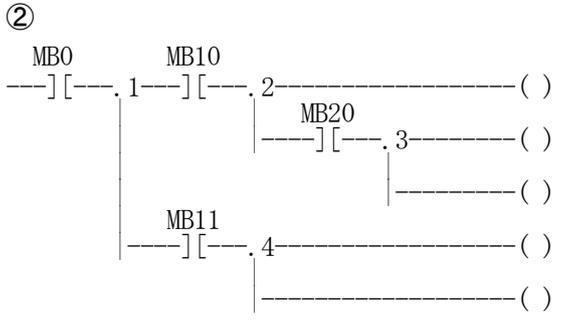
ここに1つでもブロック命令(STORE 命令など)があると NG

ここが NG となります

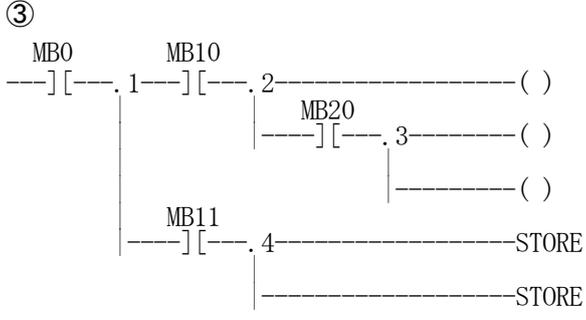
【OK パターン】



2 階層の OR 回路なので OK



すべてコイルなので OK



すべてコイルなので OK

1.2 過去のバージョンアップ情報

No.	バージョンアップ	備考
1	MPE720 Ver7.11 バージョンアップ情報	Ver7.10→Ver7.11
2	MPE720 Ver7.13 バージョンアップ情報	Ver7.11→Ver7.13
3	MPE720 Ver7.14 バージョンアップ情報	Ver7.13→Ver7.14
4	MPE720 Ver7.20 バージョンアップ情報	Ver7.14→Ver7.20
5	MPE720 Ver7.21 バージョンアップ情報	Ver7.20→Ver7.21
6	MPE720 Ver7.23 バージョンアップ情報	Ver7.21→Ver7.23
7	MPE720 Ver7.24 バージョンアップ情報	Ver7.23→Ver7.24
8	MPE720 Ver7.26 バージョンアップ情報	Ver7.24→Ver7.26
9	MPE720 Ver7.27 バージョンアップ情報	Ver7.26→Ver7.27
10	MPE720 Ver7.28 バージョンアップ情報	Ver7.27→Ver7.28
11	MPE720 Ver7.29 バージョンアップ情報	Ver7.28→Ver7.29
12	MPE720 Ver7.30 バージョンアップ情報	Ver7.29→Ver7.30
13	MPE720 Ver7.31 バージョンアップ情報	Ver7.30→Ver7.31
14	MPE720 Ver7.33 バージョンアップ情報	Ver7.33→Ver7.34
15	MPE720 Ver7.34 バージョンアップ情報	Ver7.34→Ver7.35

2. 修正内容詳細

No.1 SVC モジュールに割り付け可能なモジュールに IO3100 モジュール(DC24V16 点入出力)を追加しました。

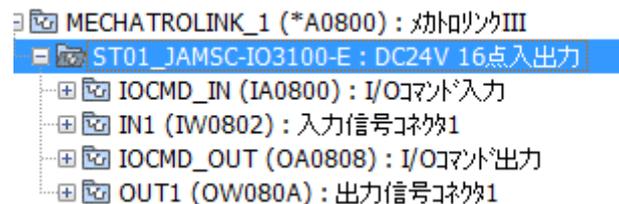
1. MC-Configurator のモジュール構成定義の割付画面に、IO3100 モジュールが表示されるように変更しました。



2. モジュール構成定義の詳細定義画面に、IO3100 モジュールが表示されるように変更しました。



3. 入出力変数に、IO3100 が表示されるように変更しました。



【対応バージョン】

○コントローラ

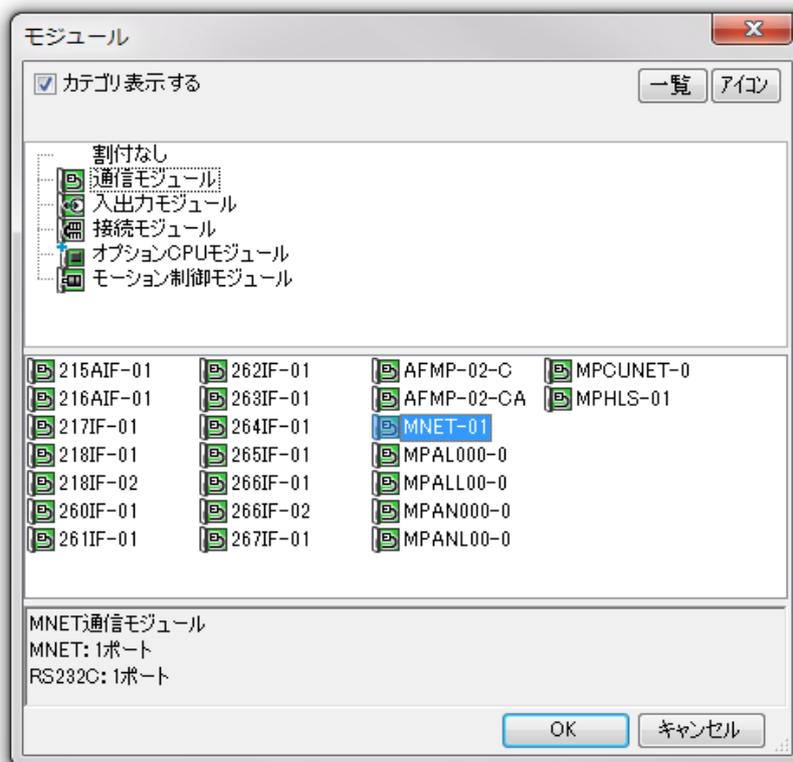
コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

○オプションモジュール

モジュール	対応バージョン
SVC-01	バージョンには依存しません。

No. 2 MP3000 シリーズコントローラに、割り付け可能なモジュールに、MNET-01 モジュールを追加しました。

MC-Configurator のモジュール構成定義の割付画面に、MNET-01 モジュールが表示されるように変更しました。

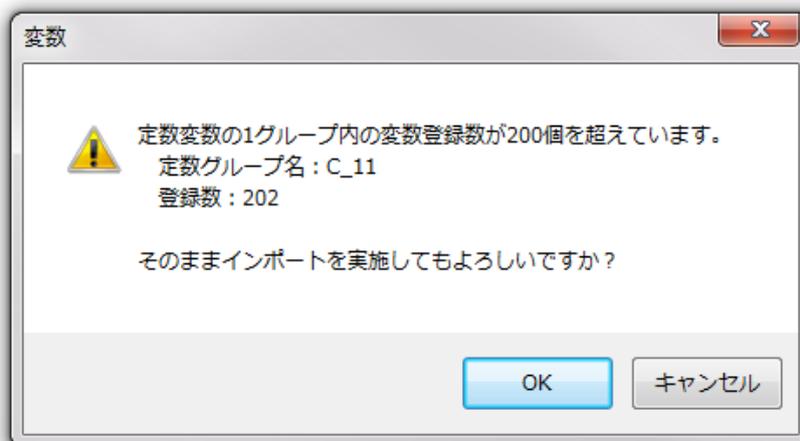


【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	Ver.1.24 以降
MP2000 シリーズ	Ver.2.61 以降

No. 3 定数変数のインポート機能を改善しました。

インポート個数が 200 個を超える場合に、インポート処理を続行するかどうかの確認メッセージを表示するように変更しました。



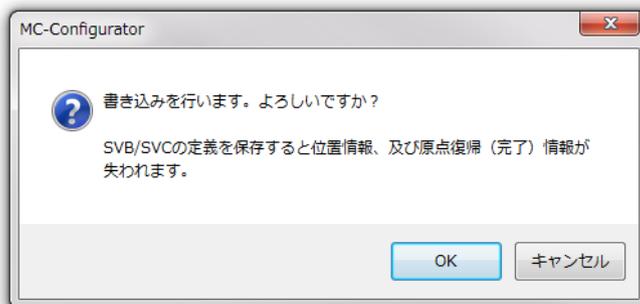
【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

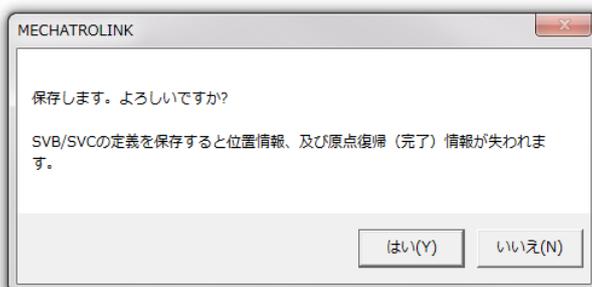
No. 4 SVB、SVC の詳細定義を変更し、書き込みを行った場合にメッセージを追加表示するようにしました。

SVB、SVC の詳細定義や割付を変更した場合に、位置データが再計算され、原点復帰情報が変化するため、位置情報、原点復帰(完了)情報が失われることのメッセージを追加しました。

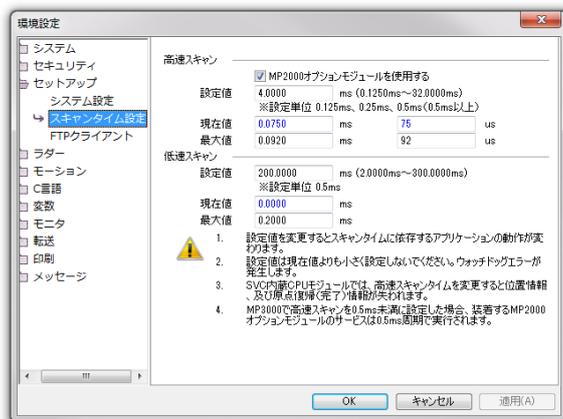
1. MC-Configurator のモジュール構成定義画面で、SVB、SVC モジュールの編集を行った際、メッセージを追加表示するように変更しました。



2. SVB、SVC の詳細定義画面を開き、保存操作を行った場合に、メッセージを追加表示するように変更しました。



3. スキャンタイム設定画面の注意メッセージについて、位置情報、原点復帰(完了)情報が失われるというメッセージに表示内容を変更しました。



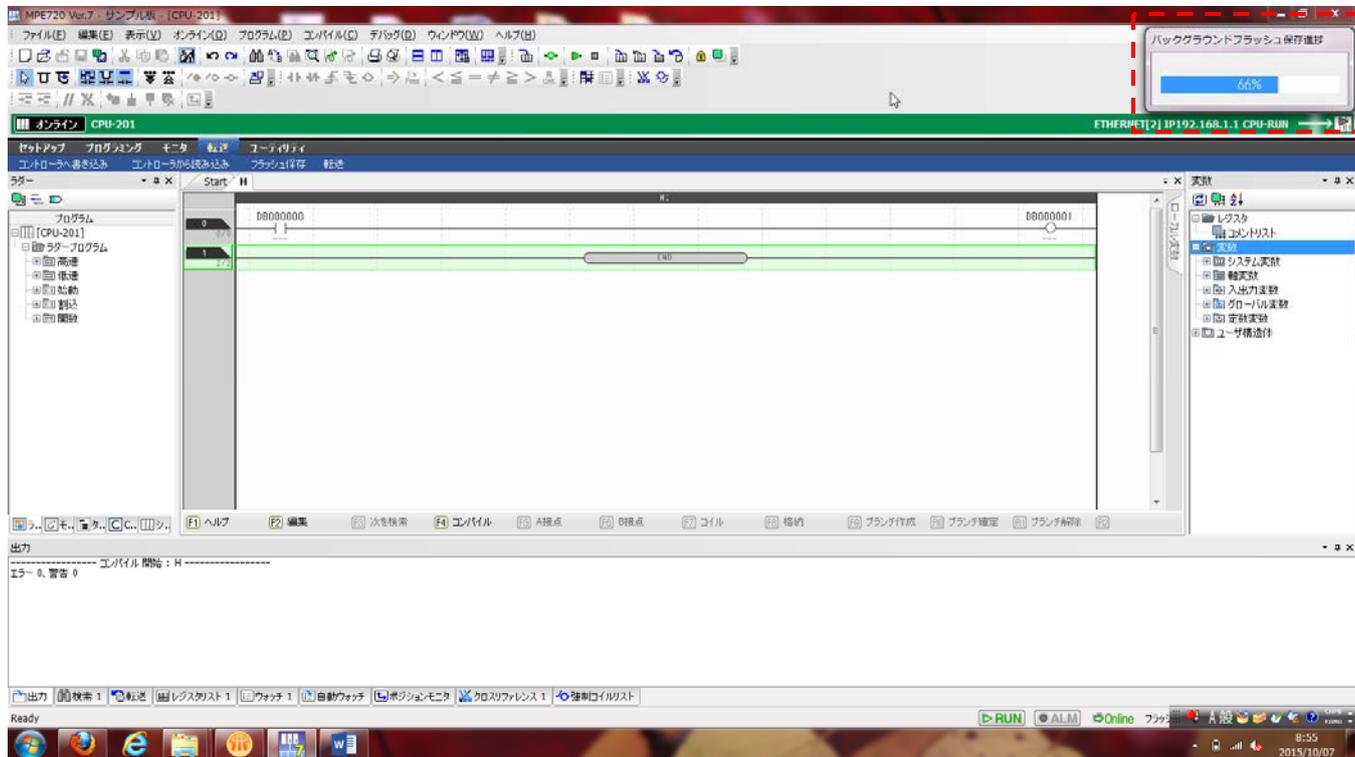
【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

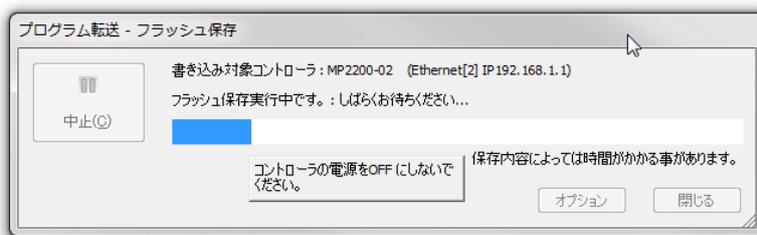
No.5 フラッシュ保存時の動作を改善しました。

以下に示すように、フラッシュ保存時の動作を改善しました。

1. バックグラウンドフラッシュ保存機能対応機種については、フラッシュ保存を行った場合に、進捗ステータスをポップアップ表示するダイアログが表示されるように変更しました。



2. バックグラウンドフラッシュ保存機能非対応機種については、フラッシュ保存が完了するまで電源を OFF しないように注意を促すメッセージを表示するように変更しました。



【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No.6 特定の PC において、特定のプロジェクトファイルを開くと、MPE720Ver.7 が起動できない現象を改善しました。

クロスリファレンスの履歴表示時に、既に存在しない行を選択しようとした場合に、検索結果の履歴を不正に参照しないよう改善しました。

【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No. 7 ラダープログラムにおいて、変数を誤って認識してしまう現象を改善しました。

Expression 命令、IF 命令及び While 命令において、コンパイルバージョンで使用している「version」タグと「data」タグを変数として認識しないように改善しました。

【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No. 8 モーションプログラムのコンパイラの動作を改善しました。

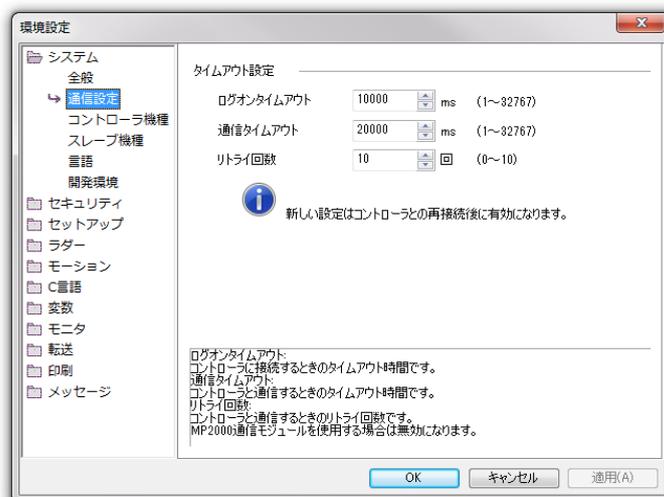
モーションプログラムの変数宣言において、「MOV」、「MVS」などの予約語が使用された場合に、変数宣言のコンパイル処理でコンパイルエラーとなるように改善しました。

【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No.9 通信設定のリトライ回数の最大値を変更しました。

環境設定⇒システム⇒通信設定のリトライ回数の最大値を「10回」に変更しました。

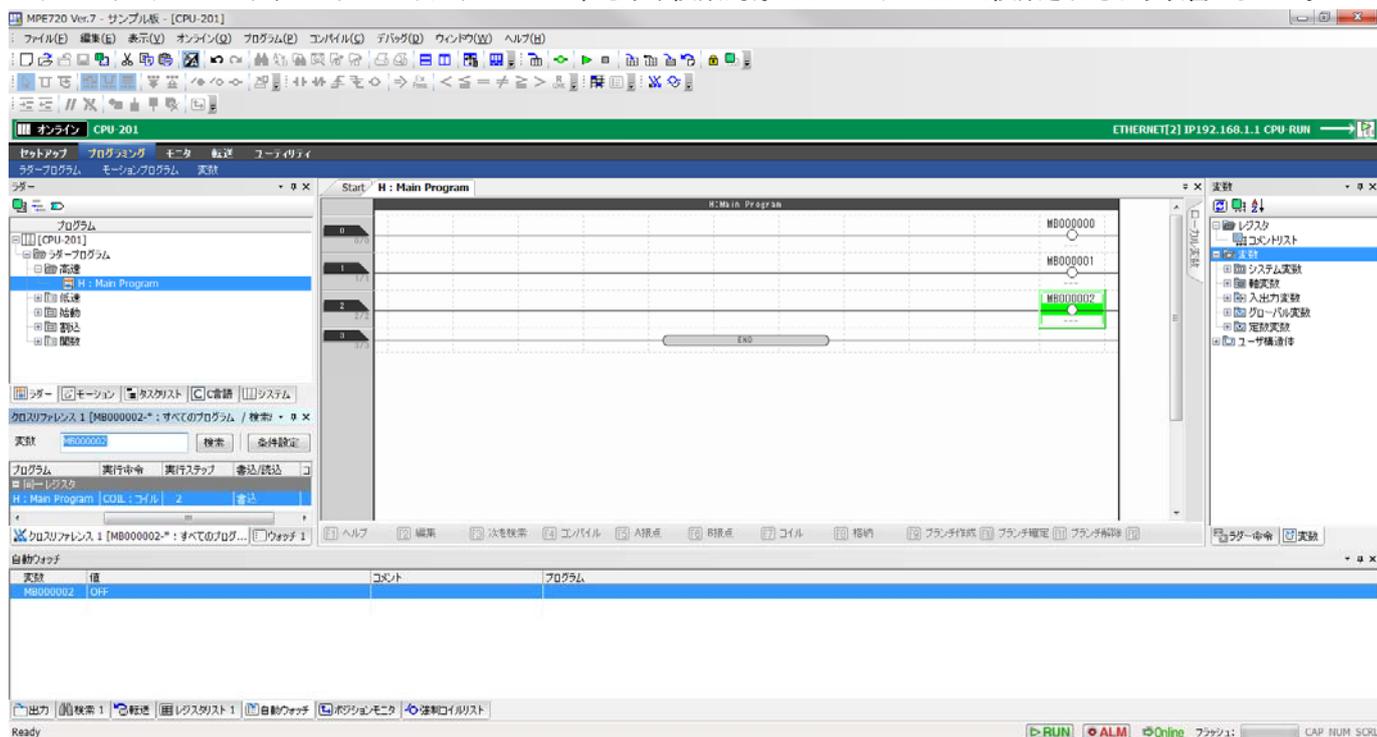


【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No. 10 クロスリファレンス機能の動作を改善しました。

クロスリファレンスウィンドウのレイアウトにかかわらず、検索対象のレジスタが正しく検索されるよう改善しました。

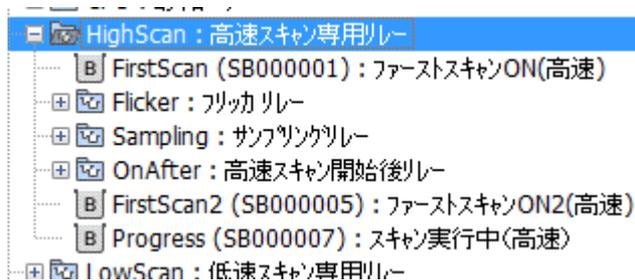


【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No. 11 システムレジスタについて、MP3000 シリーズで追加となったレジスタの変数、コメントを追加しました。

システムレジスタについて、MP3000 シリーズで追加となったレジスタの変数、コメントを追加しました。



【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。